

熱中症予防のための新たな情報発信「熱中症警戒アラート（試行）」について

資料1

R2.6.16

環境省・気象庁

令和2年夏（7月1日～10月28日）に関東甲信地方において先行的に実施

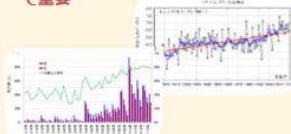


熱中症警戒アラート（試行）

環境省・気象庁が新たに提供する、暑さへの「気づき」を呼びかけるための情報。熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に発表し、国民の熱中症予防行動を効果的に促す。

1. 背景

- 熱中症による死亡者数・救急搬送者数は増加傾向にあり、気候変動等の影響を考慮すると熱中症対策は極めて重要



2. 発表方法

- 高温注意情報を、熱中症の発生との相関が高い暑さ指数（WBGT）を用いて新たな情報に置き換える

暑さ指数（WBGT）とは、
人間の熱がうつに影響の大きい
気温 湿度 辐射熱
1 : 7 : 2
の3つを取り入れた暑さの厳しさを示す指標です。

※各地域の暑さ指数は環境省の
熱中症情報サイト参照



3. 発表の基準

- 都県内のどこかの地点で暑さ指数（WBGT）が33℃を超える場合に発表



4. 発表の地域単位・タイミング

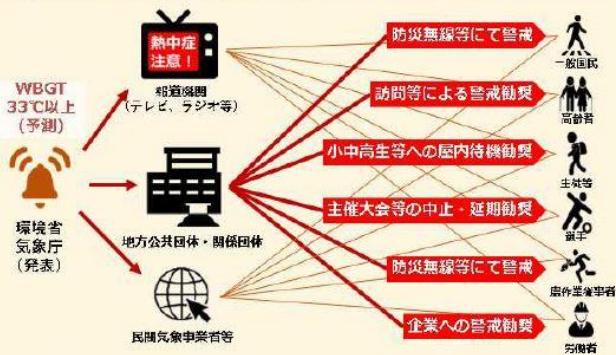
<地域単位>

- 都県単位で発表
- 該当都県内の観測地点毎の予測される暑さ指数（WBGT）も情報提供

<タイミング>

- 前日の17時頃及び当日の朝5時頃に最新の予測値を元に発表
- 報道機関の夜及び朝のニュースの際に報道いただくことを想定
- 「気づき」を促すものであるため、一度発表したアラートはその後の予報で基準を下回っても取り下げない

5. 情報の伝達方法（イメージ）



6. 発表時の熱中症予防行動例

- 熱中症の危険性が極めて高くなると予想される日の前日または当日に発表されるため、日頃から実施している熱中症予防対策を普段以上に徹底することが重要。

(例) >普段以上に屋内の気温・湿度、あるいは暑さ指数（WBGT）を確認し、エアコン等を適切に使用する。

- >不要・不急の外出を避け、涼しい屋内で過ごすようになる。
- >高齢者、障害者、子供等に対しては周囲の方々から特に声をかける。
- >空調機器が設置されていない屋内及び屋外での運動や活動等の中止・延期等を検討する

7. 令和2年度夏の先行的実施と検証について

- 令和2年度夏（7月1日～10月28日）に、関東甲信地方（東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県、長野県）において先行的に実施
 - >先行的実施の際は、関東甲信地方は現在の高温注意情報の発表基準を暑さ指数に換え、熱中症警戒アラート（試行）として発表
 - >関東甲信地方以外は例年通り気温を基準とした高温注意情報を発表
- 先行的実施を踏まえ、今秋以降に本格実施に向けて検証し、課題を改善
- 令和3年度から全国で本格実施予定



熱中症警戒アラート

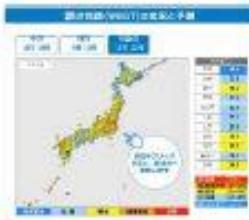
(試行) 環境省
気象庁
令和2年6月

※一都八県（東京・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・山梨・長野）

熱中症警戒アラートは、暑さへの「気づき」を呼びかけて予防行動をとっていただくための情報です。熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に、その前日夕方または当日早朝に発表されますので、以下のような予防行動を積極的にとりましょう。

1. 気温・湿度・暑さ指数を確認しましょう

- 身の回りの気温・湿度・暑さ指数（WBGT）を測定する
- 環境省や気象庁のホームページでも確認できる



2. 熱中症リスクの高い方に声かけをしましょう

- 熱中症になりやすい高齢者、子ども、障害者の方々は十分に注意を
- 3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをする



3. 外での運動や活動は中止／延期しましょう

- 不要・不急の外出はできるだけ避ける
- エアコン等が設置されていない屋内外での運動や活動等は、原則、中止や延期をする



4. 「熱中症予防行動」を普段以上に実践しましょう

・環境省・厚生労働省から示している、「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントを心掛ける



- 暑さを避けましょう
- 適宜マスクをはずしましょう
- こまめに水分補給しましょう

https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/20200526_leaflet.pdf

**令和2年度の
熱中症予防行動**

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止のうえでより多くの時間の自粛、マスクの使用、在宅勤務、「3密（密集、密接、密閉）」を避けた暮らし「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

1. 暑さを避けましょう	3. こまめに水分補給しましょう
・エアコンを利用すると、部屋の温度を調整 ・感染症予防のため、換気扇や窓開けによって換気を徹底しつつ、エアコンの運営度をこれまでに調整 ・暑い日や熱帯夜は無理をしない ・涼しい服装にする ・熱に弱くなった日等は特に注意する	・おどろく前に水分補給 ・1日あたり、クリントンを回すに ・衣服に汗をかいた時は水分も忘れずに
2. 適宜マスクをはずしましょう	4. 日焼から肌癌警戒をしましょう
・気道・便器の高い所でのマスク着用は要注意 ・屋外で人との十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす ・マスクを着用している時は、髪筋の方向で髪を束ね、頭頂の人との距離を十分に保った上で、適度マスクをはずして休息を	・日焼から体温調節、体温チェック ・体温が高いと感じた時は、薄着せず、日で日焼け
5. 着古に慣れた体作りをしましょう	
・暑くなり始めた時期から週末に運動を ・水分補給は忘れずに、軽めの運動で ・「やや暑い場所」で「やせつい」と、盛らる程度で毎日30分程度	

高齢者、子ども、障害の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。

新型コロナウイルス感染症に関する情報：
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku/seisaku0000154006_00111.html



より詳しい情報は…

環境省：<https://www.wbgt.env.go.jp/>

気象庁：<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kurashi/netsu.html>

環境省 热中症

